

平成27年度 特別養護老人ホーム うさみの園

事業報告書

1. 施設運営の概況

- ここ数年来、うさみの園に入居される方の年齢は高齢化しており、それに伴い入居者の入れ替わりも早く、今年も続けて20名以上の入退所があった。平成27年度は空室状態が長引かず、入退所がスムーズに行われるよう職員間の協力のもと実践することができた。
入居者の高齢化及び重度化の反面、職員の年齢層は若年化し、ケアの質に問われることも多くみられた。介護業務内容の改善・向上だけでなく、若さや明るさを生かしたサービスを提供していけるよう取り組んでいく必要がある。
- 平成27年度は各ユニットの年間目標を設定した。一年を通してその目標を達成できるよう取り組み、年度末に成果を発表しある程度の成果があった。今後はユニットだけでなく入居者や家族もかかわれる目標や取り組みが増えていくことを期待し継続していく。
- 看取り介護を継続して行った。職員の経験も増え、入居者の終末期に関わる姿勢が積極的に感じられるようになった。

2. 事業計画の実施状況

(1) 施設サービスの質の確保・向上

① 施設マニュアルの見直し

全てのマニュアルを見直す事は出来なかったが、入居者に直接関わる居室担当マニュアルを新たに作成した。また、昨年度から見直しをしていた排泄介助マニュアルがすべて完成した。

② 認知症入居者への取り組み

- 24時間シート及び生活表を積極的に利用し、入居者の生活パターンや嗜好を各職員が情報共有できるようにした。

- 行動が把握しにくい入居者や問題行動のある入居者に対し、各部署と連携してケアをしていく事ができた。

③ 身体拘束廃止の取り組み

身体拘束への理解を深める為の外部研修、内部研修、委員会の取り組みの成果で身体拘束を0にする事ができた。ここ数年来、取り組んでいるスピーチロックは課題があり、今後も積極的に取り組んでいく。

④ 施設内事故対策への見直し

- ここ数年、試行錯誤して見直しを行ってきた事故報告書が完成に近づいたが、今後もさらに完成度を上げていく。

- 受診が必要な事故や危険だと思われる事故が発生した際に、関係部署を早急に招集し事故防止対策委員会を開催した。

- ⑤ 娯楽スペース、レクリエーションの提供
 - ・平成27年度はレクリエーションを積極的に行うユニットが複数見られるようになった。また、ユニットフロア内で入居者がくつろげるスペースを設ける事ができた。
 - ・施設全体で行うレクリエーションや行事も充実したものができた。

- ⑥ 個別サービスの充実

平成27年度より導入した家族との連絡ノートを活用し、家族とのコミュニケーションをより密に取れる様になった。また、居室担当を中心に入居者の情報を発信し、職員間で情報を共有することでサービスに差が出ないようにすることができた。

- (2) 職員の処遇充実と資質向上

- ① 研修体制の充実

年間計画に基づき毎月1回の内部研修の実施と、外部研修への参加で職員のレベルアップを図った。

- ② 職員の安全衛生管理

労働安全衛生委員会を中心に、職員の健康・安全・衛生・環境について協議し、改善に向けた取り組みを行った。

- (3) 地域社会との協同と貢献

- ① 地域との連携体制の強化

近隣町会、地域消防団と施設防災訓練、行事等を通じて連携を深める事ができた。また、近隣福祉施設とお互いの施設行事に行き来し親交を深めた。

- ② 実習生の受け入れ

学校からの実習生を積極的に受け入れ、各実習生がそれぞれに応じた実習目的を達成できるように指導の充実に努めた。

- (4) 施設設備の環境維持

「エネルギー使用合理化事業者支援補助事業」を活用し、空調設備の改修と照明器具のLED化を実施した。

- (5) 災害に備えた対策・訓練・地域連携等の強化

- ① 災害(火災、台風、地震、土石流等)への対応、取り組みの充実

地域消防と連携し総合防災訓練、夜間想定防災訓練の他、毎月ユニット単位での訓練を実施した。

- ② 備蓄品の確保

入居者の備蓄品(食品・飲料水・介護用品)を3日分程度までは確保できた。(飲料水は、貯水槽の水を含む)

3. 会議委員会の活動

① 管理運営会議（毎週月曜日）

基幹職員が参加し、週間の業務予定及び検討事項の協議を行った。

② 職員全体会議（随時）

全職員参加により、情報伝達・業務の周知を行った。

③ 防災管理委員会（随時）

・ 大震災(津波・火山等)に備え、災害対策の見直し、訓練実施等について協議した。

・ ユニットやフロア単位の防災訓練を毎月実施し、総合防災訓練も年2回(夜間想定含む)、消防署及び地域住民・消防設備業者の参加を得て実施した。

・ 防災業者を派遣してもらい実際に消火訓練を実施した。

④ 労働安全衛生委員会（第3水曜日）

職員の健康・安全・衛生・環境等について、協議し改善に向けた取り組みを行った。また、ユニット単位の清掃活動を指導・促進させた。

⑤ 感染対策委員会(第1火曜日)

感染症の予防対策が徹底され、平成27年度も発生ゼロを目指した。入居者はインフルエンザ及びノロウイルスの感染0であったが職員間で感染が発生した。

⑥ 介護事故防止委員会（随時）

平成27年度は当委員会を開催するような大きな事故はなかった。その他の事故に関しては、リスクマネジメント委員会で事故の再発防止に努めた。

⑦ リスクマネジメント委員会（第4木曜日）

事故に対する対策がうまくできていない状況があり、同じ事故が繰り返されていることもあった。事故報告書及び事故対策報告書を作成し、「報告」と「対策」の目的に合わせて検討した。現在新たな書類を開始してから月日が経っていないため、次年度でも評価をしていく。

⑧ 身体拘束廃止委員会（第4木曜日）

平成27年度は、フィジカルとドラッグに関する身体拘束をゼロにするという目標を達成することができた。今後はこの2つの拘束ゼロを維持できる環境を整えるとともに、スピーチロックについて取り組みを強化する。

⑨ 給食委員会（第2火曜日）

入居者の嗜好調査等を実施することにより、常に入居者の満足のいく食事の提供を行えるよう、給食受託業者を含め協議を行った。

⑩ 栄養委員会（第3水曜日）

適正な厨房の運営・衛生管理等について協議した。

⑪ イベント委員会（随時）

入居者へのサービス向上のため、年間行事の計画と実行を行った。

⑫ 編集(広報)委員会（随時）

広報紙発行の編集及び校正等を行い、広報紙「うさみの園」を適時発行した。

⑬ 排泄委員会（第2水曜日）

個別ケアにおける排泄介助について、委員会を中心に外部アドバイザーの意見も取り入れながら取り組んだ。

⑭ リネン委員会（随時）

入居者に清潔で褥瘡の無い、適切なベッドメイキング提供を行った。

⑮ 優先入所検討委員会（年2回以上）

入所順位の確定のため、年3回検討会を開催し、地域社会福祉貢献の促進に努めた。

4. その他の取組

① 伊東市介護事業者連絡協議会の参加

- ・ 施設部会定例会及び研修会
- ・ 在宅部会定例会及び研修会
- ・ 通所部会定例会及び研修会
- ・ 居宅部会定例会及び研修会
- ・ 協議会の定期総会

② 各ボランティアの受入

- ・ パンフラー教室
- ・ 傾聴ボランティア
- ・ 理美容院の出張
- ・ 一般ボランティア(パンフラー協力、掃除、縫い物、入居者との関わり)
- ・ うさみの園まつり(地域各高等学校生徒・取引業者・地域住民のボランティア等)

③ 介護実習・介護体験等の受入

- ・ 介護講座事業者より実習の依頼の受け入れ
- ・ 高等学校の介護体験・実習の受け入れ
- ・ 中学校生徒の職場体験学習の受け入れ